

日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会、日本小児内分泌学会の関連5学会から、チラーヂンS錠等の供給の状況について、学会員、医療機関、患者家族の皆様にお知らせします。

甲状腺ホルモン薬供給再開への取組み等について

1. あすか製薬株式会社による「チラーヂンS錠等の供給再開への取組み」の状況

2011年3月11日に起きた平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震により、あすか製薬株式会社のいわき工場(福島県)が被災し、国内でのレボチロキシナトリウム製剤の98%のシェアを占める「チラーヂンS錠」等の製造が停止しておりました。

あすか製薬株式会社は、1)製造委託会社による生産、2)海外製品の緊急輸入、3)いわき工場の操業再開の取組みを行い、3月19日現在、4月中旬を目処に供給再開が可能な見込みとなっています。・・・資料1(3月18日)、資料2(3月19日)

2. チラーヂンS錠等の長期処方自粛および分割調剤のお願い

あすか製薬株式会社のチラーヂンS錠等の国内在庫は合わせると約1か月分ということですので。安定的な供給が再開されるまでの間の供給不足を避けるため、被災地域以外での長期処方自粛および分割調剤の呼びかけが、厚生労働省や日本医師会により行われています。

学会員をはじめとする医療従事者は、こうした状況を勘案して、できるかぎり**必要最小限の最適な処方・調剤**に努めて下さい。患者家族の皆様にも、どうか、ご理解をお願いします。・・・資料3(厚生労働省3月17日)、資料4(日本医師会3月18日)

具体的な方法として、被災地以外では、

3か月処方といった長期処方を避け、原則1か月以内の期間の処方とする

状況によっては、さらに短い処方により、譲り合う

神経発達上どうしてもレボチロキシンが必要な新生児・乳児および妊婦への処方を優先する(これらの処方は合わせても全処方量の1%未満と推測されます)

といった対応への協力をお願いします。

3. 甲状腺ホルモン薬の安定供給再開への学会の取組み

日本内分泌学会、日本甲状腺学会、日本内分泌外科学会、日本甲状腺外科学会、日本小児内分泌学会の関連5学会では、チラーヂンS錠等の安定供給のために必要な働きかけを行い、薬剤供給に関わる情報収集を統一して行い、学会員、医療機関、患者家族の皆様への最適な情報提供を行うため、レボチロキシナトリウム安定供給対策委員会を設立いたしました。

引き続き、学会ホームページ等で最新の情報提供を行いますので、ご注意いただけますようお願い申し上げます。

以上

日本甲状腺学会・日本内分泌学会・日本小児内分泌学会
学会理事長 各位

あすか製薬株式会社

チラーヂンS錠・S散・末の供給再開への取り組み

この度の東北地方太平洋沖地震に伴う諸災害により、弊社の製品供給につきまして医療関係者の皆様には大変ご迷惑とご心配をお掛けしておりますこと、深くお詫び申し上げます。

チラーヂンS錠・S散・末につきましては現時点で通常の供給が困難な状況にあります。

今現在、通常月間使用量の0.5ヶ月分程度でございますが、先生方には長期処方をご容れいただいていることで、供給再開にご支援いただき感謝いたしております。

供給の再開に向けて全力で取り組んでおり、現在、規制当局と相談しながら供給に向けて全力で取り組んでいるところです。

[供給に関する取り組み]

- 1、製造委託会社による生産
- 2、海外製品（レボチロキシナトリウム）の緊急輸入
- 3、いわき工場の操業再開

これらの取り組みにより、チラーヂンS錠（またはレボチロキシナトリウム製剤）は**4月中旬を目処に供給の再開**が可能な見込みです。

現時点でご報告できることをまとめさせていただきました。

今後、進展等がございましたら、随時、今回と同様にメールにてご連絡させていただきます。

大変にご迷惑をお掛けいたしておりますが、宜しく願い申し上げます。

2011年3月19日 17時

日本甲状腺学会・日本内分泌学会・日本小児内分泌学会
学会理事長 各位

あすか製薬株式会社

チラーヂンS錠・S散・末の供給再開への取り組み 第2報

[供給に関する取り組み]

- 1、製造委託会社による生産
- 2、海外製品（レボチロキシナトリウム）の緊急輸入
- 3、いわき工場の操業再開

本日は「供給に関する取り組み」のうち、3、いわき工場の操業再開について進展がございましたのでご報告いたします。

震災直後は余震の影響で工場内への立ち入りが不可能でしたが、今週（3月14日～）から工場の被災調査を行っておりました。

【製剤棟】

チラーヂンを製造していた第1製剤棟は、幸い被害状況が軽微であることが判明しました。

【製造に必要な物資】

工場内のチラーヂンの原料は確保することができました。

供給が停止されていた製造に不可欠な物資（重油の必要量 200L/日、水の必要量 2000L/日）について調達の見込みが立ちました

以上、製造棟の状況・製造に必要な物資の調達について進展がありましたのでご報告いたします。

明日より、実際に稼働するのかどうか、各工程の製造機械についてそれぞれの調査に入ります。次回のご報告は3月22日 夕方となる見込みです。

尚、いわき工場の社員が逃げたかのような風評があるようですが、上記のように調査と必要な物資の調達に奔走しておりましたとご理解いただければ幸いです。

事務連絡
平成23年3月17日

地方厚生(支)局医療課 御中

厚生労働省保険局医療課

平成23年東北地方太平洋沖地震及び長野県北部の地震の被災に伴う
医薬品の長期処方、自粛及び分割調剤の考慮について

平成23年3月11日の平成23年東北地方太平洋沖地震及び同月12日の長野県北部の地震により、製薬会社の医療用医薬品（以下「医薬品」という。）の生産設備等に被害を受けたところがあり、一部医薬品について、現時点で生産が中止されているものがあります。

このような状況下、医薬品の長期処方、又はそれに伴う調剤が行われることにより、一時的に被災地域に必要な医薬品が供給されなくなる懸念があります。

については、被災地域への医薬品供給を優先し、被災された方々が必要な医療を受けられるよう、被災地域以外の保険医療機関及び保険薬局においては、患者への最適な医療を確保しつつも、当面、医薬品の長期処方の自粛あるいは分割調剤の考慮など、必要最小限の最適な処方・調剤を行うよう貴管下の保険医療機関及び保険薬局に対し、周知をお願いします。

資料4

【5学会からの註】 3月18日付の本文書においては、チラーヂン末もレボチロキシナトリウムであるように記載されていますが、正しくは、チラーヂン末は「乾燥甲状腺」であり、レボチロキシンではありません。

(保242)F

平成23年3月18日

都道府県医師会
社会保険担当理事 殿

日本医師会副会長
中川俊男

チラーヂンS錠、チラーヂンS散、チラーヂン末(レボチロキシ
ナトリウム)の供給状況並びに長期処方¹の自粛の考慮等について

チラーヂンS錠、チラーヂンS散、チラーヂン末(一般名：レボチロキシナトリウム)につきましては、今般の地震で、製造販売元の「あすか製薬株式会社」の福島県いわき工場が被災したことにより、現在、生産が中止されている状況にあり、現時点での在庫は約1か月分になっているとのことです。

当該製剤は、国内においてレボチロキシナトリウムの大部分を占める状況にあるとのことを踏まえ、同社としては、「製造委託会社によるレボチロキシナトリウムの生産」等により、供給の再開を目指しており、また、厚生労働省の要請を受け、同一成分を製造販売する「サンド株式会社」においてもレボチロキシナトリウムの国内増産や輸入を検討しているとのことです。

当該製剤については、3～6か月間程度の長期処方¹がなされることが多いとのことですが、本薬の現状を勘案し、平成23年3月17日付け事務連絡(保238)Fでもご連絡申し上げましたように、当該製剤につきまして、当面は長期処方¹の自粛を重ねて考慮するなど、必要最小限の最適な処方・調剤に努めていただくよう、なお一層のご協力をお願いいたします。

また、本件につきましては、日本薬剤師会にも協力を要請していることを申し添えます。